

平成 28 年度一般社団法人全国避難設備工業会第 4 回理事会議事録

- 1 日時 平成 29 年 3 月 13 日(月) 13 時 30 分～ 14 時 48 分
- 2 場所 発明会館 7 階 会議室
- 3 役員現在数 13 名(うち監事 2 名)
- 4 出席者 菊池信会長、生貝英樹常務理事、平野清治理事、上田勝也理事
齊田啓子理事、吉池達郎理事、重盛弘子理事、前田善衛理事
事務局 神山宏保氏
オブザーバー出席 喜田大輔氏(富士産業株式会社専務取締役)
欠席者 石川輝雄副会長、小池秀太副会長、喜田安紀理事、久保木巳三雄監事
富岡恵子監事

5 議事の経過

(ア) 開会

- ① 13 時 30 分 生貝事務局長より開会宣言
- ② 菊池工業会会長より挨拶
本日開催の理事会の趣旨について
- ③ 生貝事務局長より理事の出席状況報告
出席者数が定款第 34 条の定足数を満たし理事会が成立していること、石川副会長、小池副会長、喜田理事、久保木監事、富岡監事の欠席および喜田大輔氏がオブザーバーとして出席していることの報告
定款第 33 条により、菊池会長が議長となり、議事に入った。

6 議案の内容及び議決結果

第 1 号議案 平成 29 年度予算案について

議長の指名により、事務局から資料 1 を用いて、平成 29 年度予算案の要点について説明があった。

収支見通しについては収入見通しが負担会費、事業収入であるハッチ認定とハッチ認証数の減少により前年より 5.9 %程度減収となる見込みであること、支出見通しが事業費支出のうち出版などの未着手が多いこと等により支出が抑えられた点などで相殺され、年度末の見通しではほぼ前年並みとなっていることの報告があった。

それを踏まえた上での来年度予算は、収入面に関しては、景気回復見通しなどからの想定で、避難器具用ハッチの認定数量については、前年より微増、負担会費である検定・認定の数量については昨年並みの収入とした。また、準会員の新規加入の見通しがあること、型式承認については避難器具用ハッチは 5 型式程度、避難用ハッチに関しては型式は出尽くしたと判断したことを収入に盛り込んだことが説明された。支出面は、立入等調査費としてサーベイランスの完全実施、会員の動向の把握の一環として、正会員でありながら製造実績がない会社等の訪問などの予算確保、研究調査費として各種の研究委員会を立ち上げること、印刷製本費について、認定・認証の基準の改訂

を行うこと、工業会会報を発行することによる予算の確保、委員会開催回数の増加による支出増などを盛り込んだものとされた。特に質疑はなかったので、議長が第1号議案の平成28年度収支予算書案の承認について諮り、全員異議なく別紙予算書のとおり可決承認された。続いて議長が当該案を理事会の決議事項として総会に報告することを諮り、全員異議なく可決承認された。

第2号議案 平成29年度事業計画案について

議長の指名により、事務局から資料2を用いて、平成28年度事業計画案の説明があった。前年と対比し、新たな点検器具の製作を目的とした研究、外部へのPRとしてSNSを使用した、情報発信を行っていくこと、各種の研究委員会を立ち上げ、開発品や既存案件の改修など積極的に討論していきたい旨を盛り込んだことが説明された。上記の応答のあと、議長が第2号議案の平成28年度事業計画の承認について諮り、全員異議なく可決承認された。続いて議長が当該案を理事会の決議事項として総会に報告することを諮り、全員異議なく可決承認された。

第3号議案 新規開発製品の負担会費案について

議長の指名により、事務局から資料3を用いて、新規開発製品の負担会費案についての説明があった。これは、現状の消防法に明記されている避難器具以外の製品が開発された場合に対応する措置で、従前の規定による検定受検料の1/3、または販売価格の5/1000を目安に設定するということによって提案が為された。しかしながら、実際の手数料などを鑑み、今一度対象案件の製作者であるナカ工業株式会社との摺り合わせが必要という意見があり、この件は保留とされた。

第4号議案 証票発送の送料区分変更案について

議長の指名により、事務局から資料4を用いて、証票発送の送料区分変更案についての説明があった。これはサーベイランス訪問時に集約した意見の内、最も要望が多かったもので、着払いによる送料が高いことから、証票に関しては事務局より立替元払いにて発送し、締め日を設けた上で事務局より請求書を持って請求することが提案された。特別に質問はなく、議長が第4号議案の証票発送の送料区分変更案について諮り、全員異議なく可決承認された。なお、現状元払いにて発送している会員1社については、現状を説明の上、今回の議決内容にてお願いすることとされた。

その他 報告事項

- ① 本年度の工業会会長表彰については、資料5を用いて報告があり、会長副会長会で選考された旨の報告があった。表彰者は下記の通り。(順不同・敬称略)

ヤマトプロテック株式会社 課長代理 梶谷 泰輔
シノハラ防災株式会社 営業課長 佐久間 寛
株式会社セフ 専務取締役 古川 秀樹
トーヨー消火器工業株式会社 取締役 川野 勝茂

ナカ工業株式会社 札幌工場製造課主管 山本 英樹
株式会社ニチボウ CS部CS4課課長 菅原 弘
モリタ宮田工業株式会社 課 長 宮下 友一
浦野工業株式会社 営業第二部課長 田口 勝博
吉池防災サービス株式会社 代表取締役社長 吉池 誠晃
株式会社三波工業所 武田 良彦
松本機工株式会社 執行役員 岡野 晶司
株式会社消防科学研究所 技術部主任 高橋 昌也
上田消防建設株式会社 公務営業部第一課長 村山 雅一
中央理化工業株式会社 係 長 杉田 和彦
齋田産業株式会社 製造部 下山 恭平

- ② 本年度の機器協会会長表彰については、資料 6 を用いて会長副会長会で選考された旨の報告があった。表彰者は下記の通り。(順不同・敬称略)
- 浦野工業株式会社 第一営業部課長 矢島 栄一
株式会社初田製作所 技術サービス部HTCG 吉岡 之彦
株式会社瀬戸興産 大阪営業所所長 後藤 圭造
- ③ 本年度は理事役員改選年であることが報告された。
④ 北海道の株式会社サイダが、準会員を退会することの報告があった。
⑤ 救助袋技術委員会の経過報告があった。
⑥ 安全センター助成金について事業計画書に記載された新たな点検用器具を開発すべく、手続きを進めている旨の報告があった。
⑦ 次回理事会は平成 29 年 5 月 15 日 (月)、工業会総会は平成 29 年 5 月 29 日 (月) に開催する旨の報告があった。
⑧ 工業会事務局の移転の進捗状況についてはデベロッパーとの打合せ中であることの報告があった。

以上をもって、理事会の審議を終了したことから、14 時 47 分議長がすべての報告事項が終了した旨述べ、閉会を宣し、散会とした。

以上の決議を明確にするため代表理事及び監事において次の署名捺印をする。

平成 29 年 3 月 13 日

一般社団法人全国避難設備工業会

平成 28 年度第 5 回理事会に於いて

代表理事(会長) 菊池 信 (印)